

中心市街地活性化へ！

砂川市では中心市街地の賑わいを取り戻そうと「駅前地区」周辺の開発が話題に上っています。

そこで、気になるところを見て来ましたので紹介します。

道の駅『道草館』

東川町《人口8,188人》



道草館外観



地元の物が豊富な売店



2階は事務所と会議室

『道草館の概要』

- ・平成13年1月にインフォメーションセンターとして開設
- ・平成17年4月から「道の駅」の申請
- ・建物面積 1階535.4㎡ 2階335.9㎡
- ・建築費用 2億8,548万円
- ・年間維持管理費 約1,000万円
- ・1階に東川町観光協会の事務所
- ・2階に東川町商工会の事務所

東川町は「写真甲子園」で有名です。また、道内でも珍しくここ数年、人口が増加している町です。人気の「道の駅」があるというので見て来ました。

売店では東川町の野菜、地元の商品などが並んでいますが、レストランはありません。また、道の駅の必須条件である24時間トイレはありますが、売店の営業時間外はシャッターで区切り、極力経費を削減できる工夫がされていました。

砂川の国道12号線と比較したら圧倒的に不利な条件だと思われますが、かなり利用度は高そうです。

東川町の担当の方に聞きますと、1年間の維持管理費は約1千万円かかるそうですが、使用料やテナントへの貸店舗家賃で賄われているとのことでした。

フラノマルシェ2 (ネーブルタウン) 富良野市《人口22,280人》



フラノマルシェ2と共同住宅



豊富な品揃え

「歩いて暮らせるまち」「便利で楽しく心豊かなコミュニティ」の再生という中心市街地活性化基本計画に基づいて、「ふらのまちづくり会社」が完成させた再開発事業を見て来ました。

フラノマルシェのすぐ側に「ネーブル(へそ)タウン」と名付けられた町があります。左上の写真はフラノマルシェ2とその上に建っている共同住宅(18戸)。その他に、全天候型多目的交流空間(アトリウム)と店舗併用住宅7棟、消化器・内科クリニック、サービス付き高齢者専用住宅、保育園などが整備されています。

ネーブルタウンは平成27年6月に完成していて、産学官で構成された協議会により定めた「富良野市中心市街地活性化基本計画」の目玉として位置づけられた事業です。

総事業費は約30億円、施行地区面積は約16,000㎡です。

ここ数年、周辺の土地の路線価は上昇しているそうです。

〈砂川市では今…〉

砂川市における中心市街地の活性化については、「中心市街地活性化基本計画」に基づいて進められてきましたが平成24年9月で終了しました。

しかし最近、駅前地区の活性化に関する話題が盛んになってきています。

砂川市は

★国道12号線には24時間で2万台の車が通行しています。(年間730万台)

★函館本線の特急が停まります。

★全国に発信できる有名企業が何社もあります。

★市立病院に一日1,500人もの患者さんが来院します。

★砂川と言えばお菓子のまち、「スイートロード」が有名です。

★中心市街地の国道両側が今後、「無電柱化」になり、街の活性化も目的の一つです。

せっかく良いところがたくさんある砂川ですから、国道沿いで駅前の一等地から砂川の特産品を揃え、ご当地グルメ等の砂川のみどころをアピールする情報を発信できる施設が出来ると良いと思います。



市民の声 所属議員

小黑 弘

議会運営委員長
社会経済委員



市民の声 所属議員

武田 しん

総務文教委員
議会広報編集委員

発行にあたり

砂川市議会では議員一人に対して月1万円の政務活動費が交付されています。

「市民の声」は「市民の声だより」を発行し、有効に活用させていただいています。

皆さまからの読後のご感想、ご意見などいただければ幸いです。